

平成 24 年度事業計画の取組み方針および概要（案）

1. 取組み方針について

(1) 基本方針

- ・ 連携計画（平成 22～24 年度）の最終年度として事業継続。
- ・ 既設ハードの活用やノウハウを活かしたソフト事業を中心に実施。

(2) 取組みの視点

- ・ 費用対効果の重視（ハード施策からソフト施策へ・増客効果の重視）
- ・ 沿線地域の主体的な利用・啓発行動の誘発
- ・ 自治体職員への継続的な鉄道利用促進の働きかけ
- ・ 鉄道・駅を中心としたまちづくりとの連動
- ・ 持続的な取組みの展開

2. 事業計画の概要

■ 計画事業費見込 24 百万円

（沿線 3 市：12 百万円、神戸電鉄：12 百万円）

(1) 地域への鉄道利用行動転換への働きかけ

- ・ 地域と一体となった持続的に鉄道利用が定着するような取り組み
（モビリティ・マネジメントの継続、サポーター組織による活動、農業体験学習・七夕列車等の実施や地域祭り等のイベントでの利用啓発活動など）

(2) 利用啓発・利用促進のための情報発信

- ・ 協議会活動への理解・協力の呼びかけ、きめ細かなサービス情報の提供
（協議会だより、おでかけガイド、時刻表・バス情報パンフレットの発行など）

(3) 効果的な利用者増加のための集客企画・イベントの実施

- ・ 利用者ニーズの反映や沿線資源の活用、地域活動と連携した取り組み
（グルメラリーやウォークラリーなど企画乗車券や地域と連動した企画、
フォトコンテストなど地域の文化・スポーツ活動の交流イベントなど）

(4) 既存施設を活用した利用促進施策の継続

- （シニアパス、企画乗車券販売機、パークアンドライド駐車場、駅 PR 放送設備、
キャラクター着ぐるみ、ミニトレイン、ラッピング列車など）

※ 具体施策（予定）は資料－７－２参照。

以上

| 平成24年度事業計画の項目 | | 事業計画のメニュー | | 事業の概要 | 具体施策 |
|---------------|---------------------------|-----------|---|---|---|
| (1) | 地域への鉄道利用行動転換への働きかけ | 1 | 利用者参加による公共交通利用啓発活動 | 沿線利用者参加による啓発イベント、メッセージ発信、ボランティア活動(駅美化、植栽等)などの組織的な推進体制としてサポーターズクラブの設立・運営に取り組むほか、沿線幼稚園との協働による七夕列車・クリスマス列車を引き続き実施し、沿線地域のマイルール意識の向上と利用促進を図る。 | ・サポーターズクラブの設立と運営 ・七夕列車・クリスマス列車の運行 |
| | | 2 | 沿線企業・学校・自治体・住民へのモビリティ・マネジメント 沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動 | 沿線住民への公共交通利用情報の提供や、沿線の学校・企業・自治体職員等への粟生線利用促進を訴えかけるツールやプログラムの継続的な企画・実施のほか、ノーマイカーデーの徹底などの組織的な取り組みにも努め、公共交通利用行動を喚起する。 | ・沿線住民向けTFPのフォローアップ(ワークショップ、動機づけ冊子、コミュニケーションアンケート等) ・利用啓発ポスター制作・掲出 ・ノーマイカーデーの実施、エコ通勤啓発 |
| | | 3 | 小・中学校校外学習利用促進 | 粟生駅周辺での農業体験校外学習(田植え、稲刈り等)や、三木山森林公園での自然体験学習プランを企画・実施し、学校団体の利用誘致と公共交通利用啓発を図る。 | ・粟生農業体験、三木山森林公園への校外学習企画の提供 |
| | | 4 | 沿線イベントへの公共交通利用促進(沿線イベントへの旅客誘致) | 粟生線沿線の祭りなどの集客イベントに合わせて、公共交通利用を促すPRや新規企画乗車券の発売、ミニトレイン・キャラクターを活用した利用促進PRキャンペーン等を実施する。 | ・三木金物まつり、小野市産業フェスティバル等の沿線催事での利用啓発イベントや旅客誘致PR(ミニトレイン・キャラクター着ぐるみの活用) |
| | | 5 | 鉄道関連イベントの開催(利用者交流イベントの開催) | 利用啓発や地域参加の要素を組み込んだ「トレインフェスティバル」や「ミステリートレイン」などの集客イベントを実施し、ラッピング列車も活用して鉄道の魅力をフルに活かした効果的な旅客誘致と利用啓発を図る。 | ・トレインフェスティバルでの利用啓発・地域連携イベント実施 ・イベント列車の運行(ミステリートレイン) ・ラッピング列車の活用 |
| (2) | 利用啓発・利用促進のための情報発信 | 6 | 協議会活動・営業情報の提供(利用啓発への理解促進)(サービス情報・沿線情報の発信) | 粟生線沿線や神戸方面等のおでかけスポットや、企画きっぷ等の情報、協議会の取り組み等を紹介する「おでかけガイド」、「粟生線活性化協議会だより」を制作・配布し、スタンプラリー等の集客イベントとも連動して新規利用の誘発を図る。また、ホームページによる情報発信を通じて、より広域からの旅客誘致を図る。 | ・「おでかけガイド」制作・配布 ・「粟生線活性化協議会だより」の制作・配布(夏・秋・冬・春) |
| | | 7 | 接続バス情報の提供 | 駅と周辺施設や住宅地を結ぶアクセスバス路線について、路線図や時刻表等の情報提供を行い、バスと鉄道の一貫した輸送サービスの向上を図る。 | ・バスアクセスマップ制作・配布 |
| | | 8 | 企画きっぷの充実と効果的なPR活動 | 企画乗車券の効果的なPRを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを図る。 | ・シニアパス、おもてなしきっぷ、昼間お得きっぷ等の企画乗車券のPR(チラシ・ポスター等) |
| (3) | 効果的な利用者増加のための集客企画・イベントの実施 | 9 | 沿線観光資源を活用した利用促進イベントや地域活動と連携したイベントの実施 | 粟生線沿線の社寺仏閣や公園・温泉・文化施設等の観光資源や地域物産の魅力を伝えるとともに、併せて、それらを鉄道で巡るスタンプラリー等の魅力あるイベントを実施し、沿線地域と一体となって観光利用者の増加を図る。フォトコンテストや演奏会など、鉄道を利用した沿線各地域の交流イベントを企画し、地域交流を通じた鉄道利用促進を図る。 | ・スタンプラリーの実施(夏・秋) ・地域の文化・スポーツ活動等の交流イベントの実施 |
| (4) | 既存施設を活用した利用促進施策の継続 | 10 | 利用しやすい駅・快適な駅づくり | 快適な待合環境の整備や、企画乗車券の常時販売による駅の利便性向上をPRするとともに、PR放送設備による駅でのタイムリーな利用啓発・サービス情報の提供を行い、利用機会の増加を図る。 | ・企画乗車券販売機利用のPR(小野、三木、恵比須、緑が丘、栄) ・駅PR放送設備による各種情報の提供 ・構外市民トイレの整備(三木) ※兵庫県・三木市により整備 |
| | | 11 | パークアンドライド促進 | 自動車アクセスによる鉄道利用者を確保し、潜在需要の掘り起こしと、現行の駅勢圏の拡大による粟生線の利用者増を図る。 | ・時間貸パークアンドライド駐車場の利用促進(小野第1・第2、三木、広野ゴルフ場前、押部谷:計56台) |

(注) ※ 上記事業の実施・運営については、神戸電鉄の設備や敷地を利用すること、神戸電鉄が従来から行っている事業との整合を図る必要があること、各事業間での調整・連携のため統合的な管理・運営が必要であること等の理由から、原則として協議会から神戸電鉄へ委託するものとします。

※ 上記の事業計画について、事業の実効性や関係先との調整状況により、実施時期や事業の詳細内容について、連携計画の枠組みの中で見直しを行う場合があります。